

## 様式 2

### 保育・幼児教育現場におけるコロナ対策の好事例調査 実施説明書

本調査は、玉川大学人を対象とする研究に関する倫理審査委員会の承認を受け実施しております。

#### 1. 研究課題名

保育・幼児教育現場におけるコロナ対策の好事例調査

#### 2. 研究責任者

研究責任者名 鈴木 美枝子 (所属機関名 玉川大学教育学部・教授)

共同研究機関名	あいち小児保健医療総合センター	山崎 嘉久
	金沢市保健局	越田 理恵
	鳥取県子育て・人材局家庭支援課	小倉 加恵子
	十文字学園女子大学教育人文学部	加藤 則子
	医療法人社団高野歯科クリニック	高野 博子
	相模女子大学栄養科学部	堤 ちはる
	山梨大学大学院総合研究部	山縣 然太郎

#### 3. 研究の目的及び意義

##### 目的

保育・幼児教育現場においては、子どもの育ちを支えることと、感染症対策との両立の難しさに直面しつつ、日々の保育・教育を継続していかなければならない状況が続いている。

健やか親子 21 (第 2 次) において「すべての子どもが健やかに育つ社会」の実現を目指しているように、乳幼児期の子どものお大半が過ごす保育・幼児教育現場における子どもの育ちについて考えることは大切な視点の一つである。

本研究では、保育・幼児教育現場における新型コロナウイルス感染症の現状を把握するとともに、子どもの育ちを支えつつ、感染症対策についてはゼロリスクを求め過ぎずに工夫をしながら対策を行っている好事例等を把握し、コロナ下のような感染症蔓延時においても保育・幼児教育を安心・安全に行いながら、子どもの育ちを支えるための基礎資料を得ることを目的とする。

##### 意義

保育・幼児教育現場の実態を踏まえて調査研究を実施することにより、コロナ下のような感染症蔓延時においてもすべての子どもが健やかに育つ社会を実現するための基礎資料を得ることができ、最終的には、感染症蔓延時における子どもの育ちを支えるための好事例の周知に寄与することができる。

#### 4. 研究実施期間

2022 年 5 月 1 日 ～2023 年 3 月 31 日

#### 5. 研究内容

- ① アンケート調査に関しては、下記の項目について Googleform にて回答してもらう。最初のシートに、研究の主旨等を示したうえで本研究に協力することの同意・不同意を確認する。所要時間は一人あたり 15 分～30 分程度である。なお、その後のインタビュー調査実施に同意を得られた対象者からは、インタビュー調査実施のお願いの連絡のために個人情報取得するが、インタビュー調査実施のお願いの連絡以外に個人情報を利用することはなく、調査結果を公表する際に、個人情報を開示することは一切ない。

##### 調査内容

- 1) 新型コロナウイルス感染症発生から 2021 年度末までの所属する園・施設の状況

- 2) 園・施設で行っている新型コロナウイルス感染症対応について
- 3) 園・施設で行っているコロナ下におけるあそび場面の工夫、保育の難しさ、子どもの育ちを保障するために大切にしていること
- 4) 園・施設における多職種連携
- 5) 園・施設における保護者対応
- 6) 園・施設で購入した衛生用品や備品について
- 7) 園・施設における研修について 等

② インタビュー調査に関しては、①の調査最終シートにあるインタビュー調査実施について同意した者のみに、インタビュー調査の詳細を説明後、実施の同意を得られた場合に実施する。所要時間は、一人あたり 30～60 分程度である。インタビュー調査実施の際に得られた個人情報は、インタビュー実施に関する連絡以外に利用することはなく、調査結果を公表する際に、個人情報を開示することは一切ない。

#### 調査内容

- 1) 新型コロナウイルス感染症発生から 2021 年度末までの所属する園・施設の状況
- 2) 園・施設で行っている新型コロナウイルス感染症対応について
- 3) 園・施設で行っているコロナ下におけるあそび場面の工夫、保育の難しさ、子どもの育ちを保障するために大切にしていること
- 4) 園・施設における多職種連携
- 5) 園・施設における保護者対応
- 6) 園・施設で購入した衛生用品や備品について
- 7) 園・施設における研修について 等

アンケートで回答した内容をもとに、好事例について具体的かつ詳細に尋ねる。

#### 6. 研究対象者として選定された理由

保育・幼児教育施設に所属し、コロナ下においても、安全に配慮しながら、子どもの育ちを支えていると考えられたため。

#### 7. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

アンケート調査およびインタビュー調査回答への軽微な負担が考えられる。リスク、利益についてはなし。

#### 8. 研究参加の同意と撤回について

アンケート調査開始前に、研究の主旨、方法、自由意志による参加であること、研究参加により予想される利益・不利益、プライバシーの保護とデータの管理方法について、研究対象者から撤回の要求があれば研究を中止すること、そのことによる不利益な取り扱いはないことも含め、文書を添付し、その文書を確認し、内容について同意を得てから、アンケート調査に進めるよう Google フォームを設定する。

インタビュー調査に関しては、実施前に、研究の主旨、方法、自由意志による参加であること、研究参加により予想される利益・不利益、プライバシーの保護とデータの管理方法について、研究対象者から撤回の要求があれば研究を中止すること、そのことによる不利益な取り扱いはないことも含め、口頭および文書にて説明し、書面にて同意を得る。

#### 9. 研究に関する情報公開の方法

学術雑誌、学実集会等で、研究対象者が特定されない形で結果を公表する。

#### 10. 個人情報等の取扱いについて

要配慮個人情報を含め、情報はパスワードのかかるフォルダにて保管し、取り扱いにおいては十分な配慮を行う。調査研究終了後は期限内に適切な方法で削除する。

1 1. 試料・情報の保管及び廃棄の方法について

情報は、施錠できる場所に保管し、解析等終了後は期限内に適切な方法で破棄する。

1 2. 研究資金並びに利益相反について

利益相反はなし

1 3. 研究内容に関する問い合わせ先

研究代表者：玉川大学教育学部 鈴木 美枝子

Email：[mieko@edu.tamagawa.ac.jp](mailto:mieko@edu.tamagawa.ac.jp)

1 4. 経済的負担・謝金について

なし

1 5. 研究対象者の健康・遺伝的特徴等に関する重要な知見が得られる可能性にならびに取扱いについて

なし

1 6. 取得された試料・情報について、現時点で特定されない将来の研究のために用いられる可能性及び他の研究機関に提供される可能性について

なし